

箱根組ニュース

第353号 2022年 9月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

1

伊東の海で遊ぶ6人！ 老舗旅館の温泉と朝食、海の幸のグルメツアーに大満足！

8月20日(土)、東京駅7時42分発の熱海行きに乗車したのは太田、星野、戸丸の3名。新宿駅発7時30分の小田急線小田原行きに乗車したのは奥村。

小田原駅で4人が合流する。熱海に9時31分着。9時40分発の伊東線に乗り換える。

南伊東駅は10時7分発だが、ここで西川夫妻と合流する。というわけでこの6人で、二日間の伊東の海のツアーが始まる。

さて、川奈駅に10時13分着。

古いニュースを見ると2016年に来ているので海のツアーは実に6年ぶりということになる。この時は亡くなった浮田さんも鈴伝荘の宿泊だけ参加していた。

その懐かしい駅からの坂道を下ってゆく。しばらく行くとイルカ浜の海が見えてきてティールーム赤い屋根の先、細い集落の坂道を左に降りてゆく。

10時45分頃、いるか浜に到着。左隣の川奈海水浴場の右側に陣地を張る。早速、着替えて海に入る。ゴロゴロした

石の海岸だが、波は落ちていて水も澄んでいる。眼鏡でのぞくとたくさん的小さな青い魚が群れている。調べてみると濃い青はコバルトスズメダイ、水色のはリスズメダイと思われる。

海面に浮かんで下を見ていると人間の体の陰に隠れようとするように群れが近づいてくる。手を出すと離れるがまた寄ってくるので守ってやりたくなる。

他にもかなりたくさんさんの魚を見ることができた。大きなメジナのような魚、黒い熱帯魚の群れ、ベラなど。

体が冷えてきて一旦岸に上がって昼食。持ち寄りの昼食に、西川夫人持参の美味しいから揚げなどでお腹一杯になる。休憩後、また海に入り浮遊感を楽しむ。

1時過ぎ、着替えて出発。以前は川奈駅までの坂道を汗をかきながら登ったが、今回はバスルートを発見したので涼しいバスで快適に伊東へ向かうことにする。イルカ浜の目の前にバス停があった。

1時49分発の伊東行きのバスに乗



車。

暖香園前バス停で下車。南伊東駅方面に向かつて進むと松川横に音無神社。頼朝と八重姫が逢瀬を重ねたとされる神社だ。境内には天然記念物のタブノキが二本立っている。高さ12mと高さ14mだが、その根元の太さは圧倒されるもので、温暖な地にしか育たないとされるこの木が市内にあるのは大変珍しいようだ。頼朝と八重姫の絵巻のような看板もある。

松川沿いを歩いて、3時頃伊東小涌園にチェックイン。ロビーで好みの浴衣とアメニティーを選んで二人ずつ3室に分かれて入室。

星野(幸)さんより5000円頂きました。ありがとうございました。会計に繰り入れました。

荷物をほどくと早速温泉

へ。老舗旅館らしくとてもいい温泉だ。かけ湯があり、内風呂はぬるめと熱めの二種類。露天風呂もなかなか良かった。

夕食は近所の「道」という居酒屋を予約

してあるが、時間があるので部屋でおいしいビールをいただく。

6時、ロビーに集合してみんなで居酒屋に向かう。宿からすぐに見える距離だ。お座敷に落ち着いて生ビールで乾杯。お刺身から始まって煮魚、揚げ物などどれも美味しかった。仕上げは黒ホッピーが美味しかった。店主も奥様も自然で気さくな感じだった。店内もきれいで中々素敵な居酒屋でした。

8月21日(日)、午前5時半頃、入浴。大浴場は昨日と男湯と女湯が入れ替わっていた。やはりかけ湯、ぬるめの湯、熱めの湯と露天風呂があり存分に楽しめた。男女のお風呂場の入り口には飲用の温泉があつて飲むことができた。伊東温泉で唯一飲むことができる温泉のようです。

7時45分、朝食。鰯の干物とふわふわ豆腐など品数も多い。6人揃って豪華な朝食。最後にコーヒーもいただいた。

集合 9月18日(日)

京王線新宿駅 6:09発
急行高尾山口行き(前から3両目)

高尾 6:59着(JR乗換)
7:06発 甲府行き
大月 7:42着(富士急線乗換)
7:55発 禾生 8:04着

交通費 新宿～禾生 片道1266円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

9月18日(日) 九鬼山(970m)へ行きます。
レギュラーコース 歩行時間4時間50分
(上り1時間40分、下り3時間10分)
富士急行線禾生駅から登ります。今回初めて猿橋駅への長いルートを計画しました。
※エスケープルートは田野倉駅へ(3時間20分)
※挑戦ルートは大月駅へ(5時間20分)
○持ち物 昼食、飲料水(多めに)、非常食、マスク(予備マスク)、傘、雨具、着替え、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他
※申し込み締め切りは 9月16日(金)。

いた。

9時、チェックアウト。朝方は雨が降っていたが、外に出ると止んでいた。南伊東駅まで15分ほどで到着。

9時半の電車で城ヶ崎海岸駅に向かう。

9時44分、城ヶ崎海岸駅着。改札外でストレッチを行う。

10時5分、歩き出す。駅前を真っすぐ進み、大通りを過ぎてその先を左方向



に進む。ここは城ヶ崎海岸通りとある。

住宅地？ いや別荘地を両側に見ながら桜並木を緩やかに下ってゆく。

10時35分、右に曲がる。標識には門脇崎灯台・吊り橋とある。この海拔は33m。この吊り橋は二時間ドラマなどでよく撮影場所になったあの城ヶ崎の吊り橋だ。駐車場の右側の歩道を下りると眼下は絶景の変化にとんだ岩の海岸だ。

10時48分、吊り橋に到着。辺りは観光客でいっぱいだ。橋のたもとで吊り橋と灯台をバックに記念撮影。

さて海沿いの遊歩道を進むと観光客はいなくなり静かなハイキングになる。

11時19分、黒船防備砲台跡。その先では黄色い忘れ草（ノカンゾウ）が群生していて見事でした。

11時30分、ボラ納屋に到着。プールの入場料1300円を支払って入場。休憩所の横の岩場に陣取って着替える。磯は少し波が荒いので海に入るのをあきらめて横の海水プールで遊ぶことにする。各々もぐったり泳いだり海の雰囲気を楽しんだ。

プールから上がって、隣接のボラ納屋で昼食。以前も来た事のあるこの店はちよつと高いが、魚はとても美味しかった。お刺身定食や、丼物などを楽しんだ。

静岡ビールという生ビールもすすきりして美味しかった。

さて昼食後、2時15分の伊東行きのバスに乘ろうと城ヶ崎口バス停に向かう。グーグルナビで2分とあったが、実は車で2分だった。早めに出たので問題はなし。

バス停横に咲いていたのはデイゴらしかったが、確か沖縄が北限だったような。

伊東行きのバスで快適に伊東駅に到着。

西川夫妻とは暖香園前でお別れ。大変お世話になりました。

楽しい二日間でした。また二年後に。



